行政事業レビューシート　サブシート

事業番号　　当初　8-5

予算事業名	自動車ナンバー自動読取装置の整備	**事業開始年度**	昭和61年度	**作成責任者**
担当部局庁	警察庁	**担当課室**	通信施設課	通信施設課長 牛田克己
会計区分	一般会計	**上位事業**	警察通信	
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第3号 警察法施行令第2条第3号	**関係する計画、通知等**	－	

事業概要
(5行程度以内)

自動車盗や自動車を利用した犯罪を検挙するため、通過する自動車のナンバーを自動的に読み取り、手配車両のナンバーと照合する自動車ナンバー自動読取装置の整備を進める。

実施状況

自動車ナンバー自動読取装置の新設、既存装置の更新を行った。

予算の状況
(単位:百万円)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
予算額(補正後)	4,020	2,779	1,701	－	85
執行額	3,579	2,474	1,394		
執行率	89%	89%	82%		
総事業費(執行ベース)	3,579	2,474	1,394		

自己点検
(使途の把握水準や見直しの余地等)

自動車ナンバー自動読取装置は、自動車利用犯罪の検挙に極めて効果的であることから、引き続き実施する必要がある。
全国的に仕様を統一する必要がある当該装置については、警察庁において一括調達しているので、支出先については把握している。また、地方機関に予算配賦している機器設置工事費等については、地方機関から執行状況の報告を受けているので、支出先については把握している。
予算要求に際して、契約実績額や市場調査に基づく金額や内容の精査を行っているほか、契約案件の都度、仕様の見直し・点検や競争性を高めるための契約方式の検討を行っている。また、過去の調達実績の反映等を図っており、今後とも引き続き実施する。

資金の流れ
費目・使途

別紙のとおり

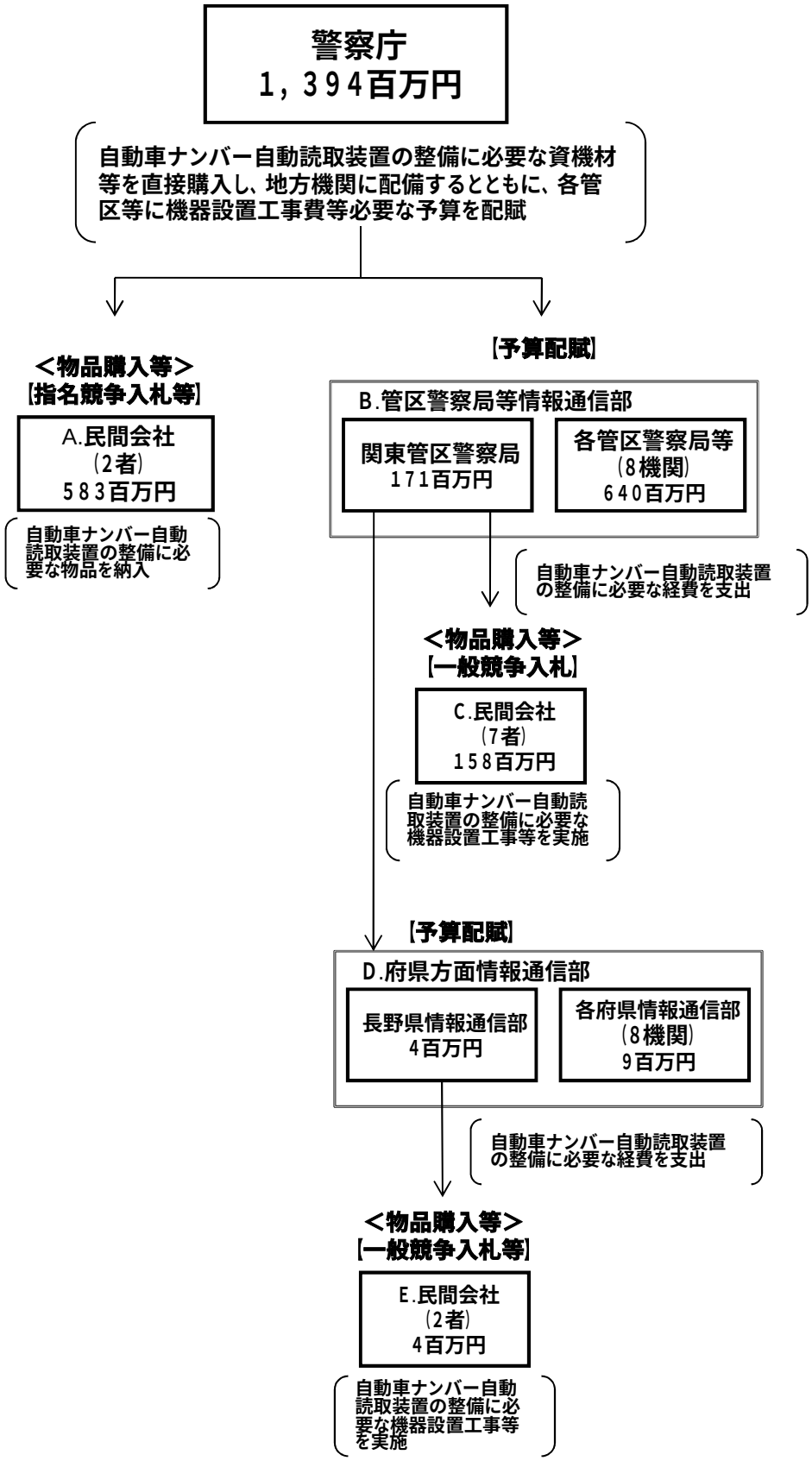
A.　A株式会社

費　目	使　途	金　額 (百万円)
物品購入費	自動車ナンバー照合装置外の調達ほか	359
計		359

【事業番号　当初　8－5】

自動車ナンバー自動読取装置の整備

資金の流れ



Aブロック以外の支出先等
（1枚目に収まらない場合）

【A．上位10者の支出先】

支出先	内 容	金 額 (百万円)	支出先	内 容	金 額 (百万円)
A㈱	自動車ナンバー照合装置外の調達ほか	359			
B㈱	自動車ナンバー自動読取装置外の調達ほか	224			

B．関東管区警察局

費 目	使 途	金 額 (百万円)
予算配賦	自動車ナンバー自動読取装置の整備に要する経費	171
計		171

【B．上位10者の支出先】

支出先	内 容	金 額 (百万円)
関東管区警察局	予算配賦	171
九州管区警察局	予算配賦	126
中部管区警察局	予算配賦	104
近畿管区警察局	予算配賦	90
中国管区警察局	予算配賦	80
東京都警察情報通信部	予算配賦	76
四国管区警察局	予算配賦	74
東北管区警察局	予算配賦	73
北海道警察情報通信部	予算配賦	17

C．A株式会社

費 目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	通信施設整備工事ほか	44
計		44

【C．上位10者の支出先】

支出先	内 容	金 額 (百万円)
A㈱	通信施設整備工事ほか	44
B㈱	通信施設整備工事ほか	25
㈱C	通信施設整備工事ほか	24
D㈱	通信機器搭載柱等設置工事	21
E㈱	通信施設整備工事	19
㈱F	通信施設整備工事	17
㈱G	通信施設整備工事	9

Aブロック以外の支出先等
（1枚目に収まらない場合）

D．長野県情報通信部		
費 目	使 途	金 額 (百万円)
予算配賦	自動車ナンバー自動読取装置の整備に要する経費	4
計		4

【D．上位10者の支出先】		
支出先	内 容	金 額 (百万円)
長野県情報通信部	予算配賦	4
茨城県情報通信部	予算配賦	2
群馬県情報通信部	予算配賦	1
埼玉県情報通信部	予算配賦	1
栃木県情報通信部	予算配賦	1
新潟県情報通信部	予算配賦	1
山梨県情報通信部	予算配賦	1
千葉県情報通信部	予算配賦	1
神奈川県情報通信部	予算配賦	1

E．A株式会社		
費 目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	通信施設更新等工事	3
計		3

【E．上位10者の支出先】		
支出先	内 容	金 額 (百万円)
A㈱	通信施設更新等工事	3
㈱B	通信施設更新等設計委託	1

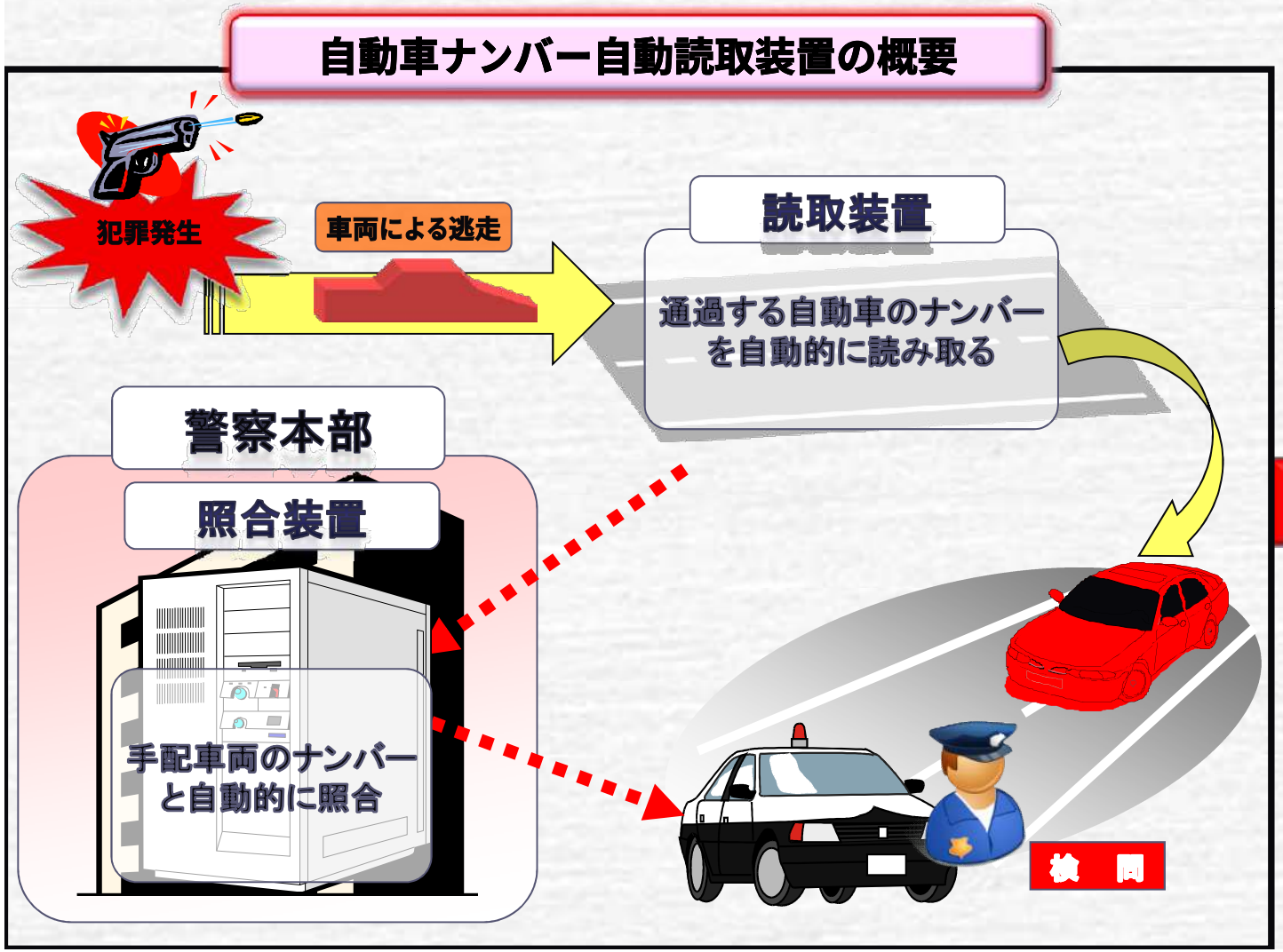
F．		
費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

【F．上位10者の支出先】		
支出先	内 容	金 額 (百万円)

自動車ナンバー自動読取装置の整備

自動車利用犯罪の迅速かつ的確な検挙のため、
自動的に自動車のナンバーを読み取って手配車両のナンバーと照合する装置を整備

自動車ナンバー自動読取装置の概要



メリット

1. 交通渋滞を引き起こすことなく効果的・効率的な検問実施が可能
2. 自動車利用犯罪への迅速かつ的確な対応が可能